

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 8 日

仕事の内容	消防水利施設の維持管理					
担当部署・課長名	防災安全	課	消防	係	課長名	東 栄一

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	4	-	-
【施策名】 防災・防犯体制の推進	総合計画書 (ページ)	93		

予算名	款 9	消防費	項 1	消防費	目 3	消防施設費	事業 1	消防施設管理費
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	------	---------

1	この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
		消火栓・防火水槽	→ 消火栓・防火水槽の設置箇所数
		② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
		消防法に基づく消防水利の基準を満たし、適切な状態で維持する。	→ 消火栓・防火水槽の新設箇所数
		③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
		消火栓・防火水槽の新設等	→ 消火栓 5箇所新設 防火水槽 1箇所解体

2	指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	箇所	997	1,004	1,008	/	/
		成果指標	②の数値	箇所	7	7	4	/	/
		目 標	②の目標値		/	/	/	/	/
			目標値設定の考え方						
	活動指標	③の数値	箇所	7	7	4	/	/	

3	経費	事業費(実績)		円	37,549,616	28,512,082	39,540,056	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
		財源		円	37,549,616	28,512,082	39,540,056	
		一般財源		円	37,549,616	28,512,082	39,540,056	
		特定財源		円	0	0	0	
		(うち受益者負担)		円	0	0	0	
		人件費(目安)		人	0.1	0.1	0.1	
		所要人数(再任用以外)		人	0.0	0.0	0.0	
職員人件費(再任用以外)		円	413,350	412,650	824,400			
職員人件費(再任用)		円	0	0	0			
事業費+人件費		円	37,962,966	28,924,732	40,364,456			

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4	環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
		法第20条第2項に基づき、従前は、市水道事務所が「消防に必要な水利施設」(消火栓)の維持管理を行ってきた。平成19年度に市水道事務所の受託業務が東京都へ移管されたことに伴い、東京都水道局と協定を締結し、これ以降、修繕工事等の施工は東京都水道局が行うものの、市の責任において公設防火水槽及び消火栓の維持・管理を行っている。
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。
		昭和45年以降、消火栓等の標識の規格が統一され、順次、設置してきたが、市内にある標識の劣化が著しい状況である。

仕 事 の 内 容	消防水利施設の維持管理			
担当部署・課長名	防災安全	課	消防	係 課長名 東 栄一

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について		
	自治会や市民から、随時、消火栓蓋や標識の劣化について情報提供があった。 消火栓標識の劣化があるため、市民から撤去の要望があった。		

6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）		
	取り組んだ	取組手法	⑧防火水槽及び消火栓の劣化状況について調査・情報提供をしてくれた自治会があった。 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		
自治会や市民から、随時、消火栓蓋や標識の劣化について情報提供があった。 消火栓標識の劣化があるため、市民から撤去の要望があった。			

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容		
	平成29年度から、劣化した消防標識の撤去、新設等を委託により行い、従来と比較して迅速かつ多量な適切処理を行うことができた。		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 消防水利施設の劣化状況の把握や適正管理を行うためには、多大な時間を要することに加え、劣化状況を市の職員が把握する必要があるが、このうち消火栓の維持・管理は、東京都水道局において実施しているところである。また、平成30年度から、消防係において防火貯水槽の維持・管理を行っているが、除草等を外部委託することにより、効果的に事業を実施した。		
(3)(2)を踏まえた今後の課題			
消防水利施設の劣化状況の把握や適正管理を行うにあたり、防火貯水槽の管理台帳を作成したことから、今後は台帳を活用していきたい。			

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 効率的な消防水利施設等の維持・管理を行うにあたり、引き続き、業者による標識の撤去・新設を行う必要がある。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 予算の確保。		
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。